

阪急西宮野球場竣工

日本一のモダン球場と稱せられる阪急西宮球場は、かねて竹中工務店によつて建設工事が進められてゐたが、去4月末竣工、5月1日盛大な竣工式が舉行された。同球場は總工費120萬圓を投じ、55,000人を收容し得る大規模なもので、その工事の概要を摘記すれば次の通りである。

工事概要

位置・西宮市津門字高松、阪神急行電鐵西宮驛北口寄。

敷地面積・約25,000坪。

球場面積・7,860坪、此内譯はフィールドが4,100坪、内野スタンド2,800坪、外野スタンド870坪、空地90坪。

観覽席・收容人員内野約37,000人、外野約18,000人、計55,000人。

構造の大要・内野スタンドは鐵骨鐵筋コンクリート造、2重層織傘付5階建、軒高95尺、正面塔屋は9階建で軒高120尺である。外野スタンドは鐵筋コンクリート造、單層無蓋であるが、將來内野スタンドの兩翼と共に2重層スタンドに擴張出来る構造になつてゐる。





(1) 阪急西宮球場正面全景。

(2) 同上内野観覧席を見る。

球場の規模並に設備・フィールドは内、外野

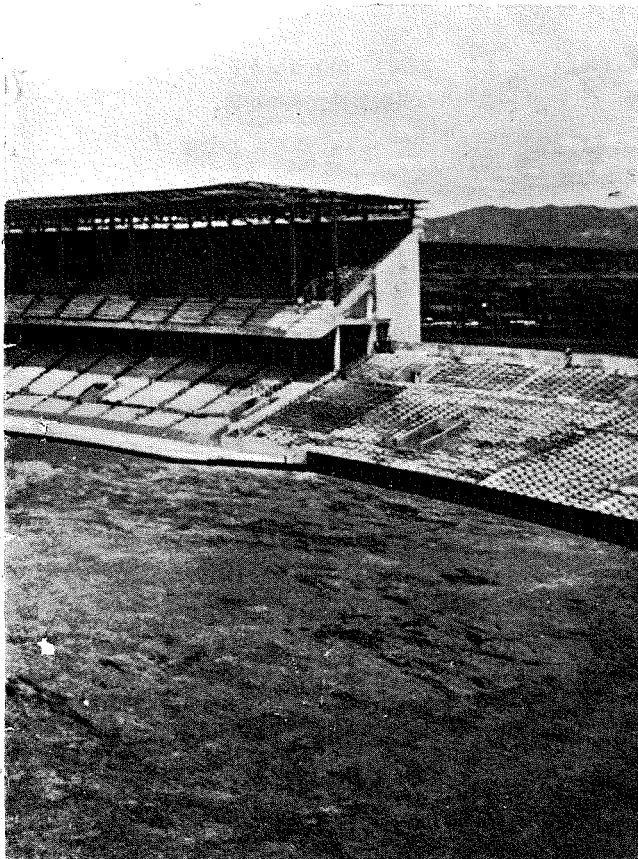
ダイヤモンド共に芝生とし、本壘よりバツク・ストップまで60呎、左右兩翼外壁まで300呎、センター外壁までは390呎である。観覧席はメイン・スタンド並に1階の大部分及2階前通りをベンチ席とし、其他は木製のスタンドとした。

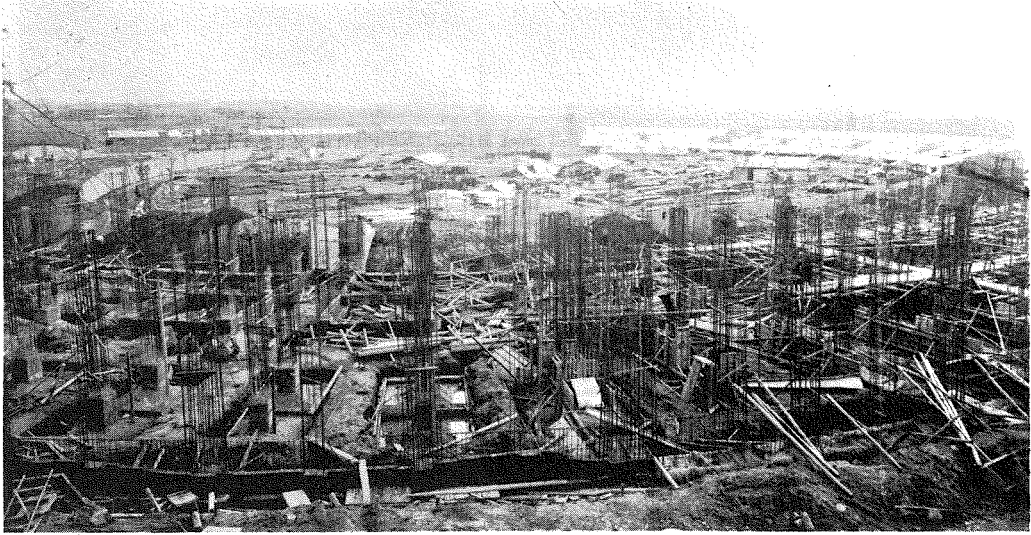
メインスタンドの内部1階は中央部に電気室、機械室、事務室、新聞記者室、役員室、小使室等を設け、其左右に對蹠的に選手控室、同更衣室、同便所、浴室、洗面シャワー室、救護室等の競技關係の諸室並に食堂、喫茶室、賣店、郵便局、一般用兩便所(男女を區別して)、出札室等を配置した。

スコアボードは外野スタンドセンター裏に設置し、操作はドア・エンヂン式に依り、尙擴聲装置を併用する。

工事期間・昭和11年12月1日に起工して、昭和12年4月末日竣工した。

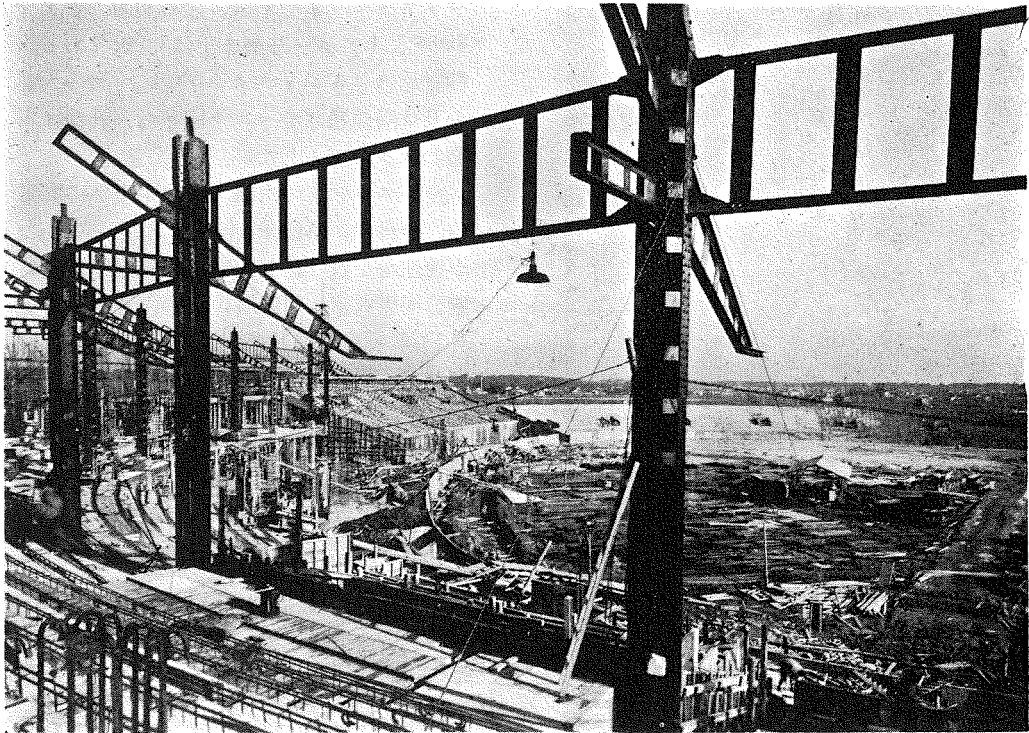
設計及施工・設計は阿部美樹志建築事務所、施工は竹中工務店で、鐵骨の製作は吉田鐵工所で當つた。

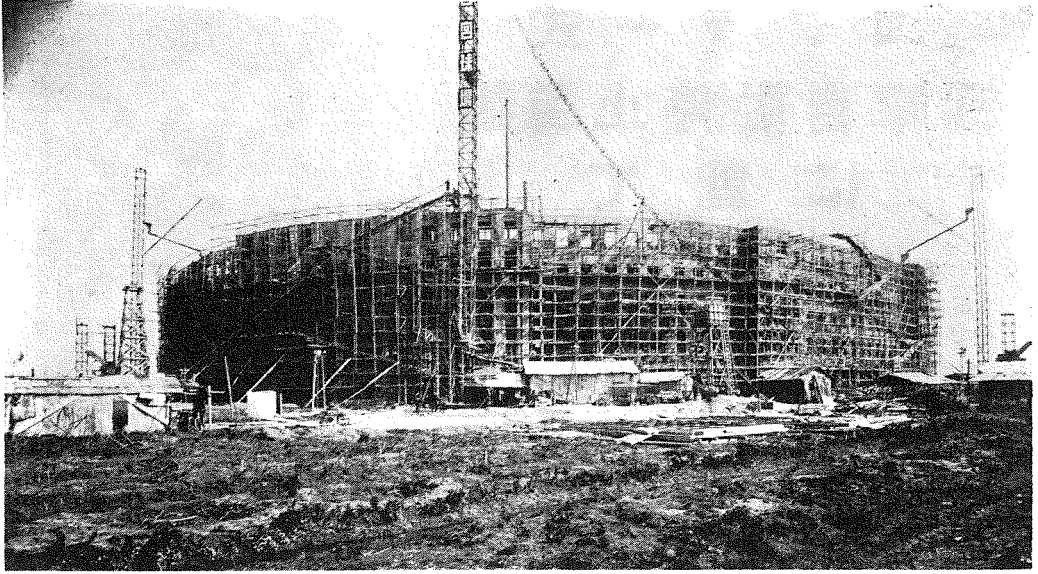




(3) 工事中の西宮球場
て基礎工事を終り柱鐵筋
組立中の狀況。

(4) 同上コンクリート
及鐵骨組立中の球場。





(5) コンクリートを
終り、外型略整った球
場の正面。

(6) 竣工近き球場の内
部、観衆工事の状況。

